

県民の皆さまへのメッセージ

- 7月中旬に約2ヶ月半ぶりに本県で75例目の新たな感染が確認されました。これ以降、本県における新たな感染確認は、週に2、3人のペースです。最近1週間の感染確認は1人で、全国的な状況と比べれば、県内の感染状況は落ち着きを見せていると思います。
- このことは、県民の皆さまや事業者の皆さまの感染防止に対する日頃からのご尽力、ご協力の賜物だと思えます。感謝を申し上げます。
- 先週、国の分科会から、地域の感染状況に応じた4つのステージの区分と講ずべき対策などの新たな考え方が示されました。このことを踏まえて、本日、県の「感染症対応の目安」も変更したところです。
- 本県の感染状況は、国が示した4つのステージの中では最も下の「ステージⅠ（感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階）」と考えられます。また、県の「感染症対応の目安」においても、「注意」報（黄色）レベルにとどまっていると考えています。
- ただ、全国的な状況を見ると、東京を中心とする首都圏、大阪、愛知、福岡などの大都市部、さらには沖縄など九州の一部の地方においては、連日、過去最多の新たな感染者が確認される状況が報じられており、感染拡大が懸念されている状況です。
- 「感染拡大防止」と「経済の回復」との両立が求められているのが今の状況だと考えています。こういった中で、他県との人の往来も活発になりつつありますので、本県においても決して油断ができる状況ではないと考えます。
- 県民の皆さまには、引き続き、3密の回避、マスクの着用、手洗いの励行といった基本的な感染防止対策を改めて徹底していただきたいと考えます。
- 最後に、お盆のシーズンにおける本県への帰省に関して、改めて申し上げます。

- 他県との移動に関して、一律に帰省の自粛を求める必要はないと考えています。ご家族とご相談いただいて、帰省しようという判断になれば、感染防止対策を徹底して帰省していただいて良いと考えています。
- 一方で、感染が拡大している地域にお住まいで、発熱などの症状がある方、帰省前の 2 週間以内に夜の繁華街など感染リスクの高い所に出入りした方などについては、帰省を控えることを考えていただければと思います。
- また、帰省された後も、マスクの着用といった感染防止対策を徹底してください。特に、高齢者の方や持病をお持ちの方は重症化のリスクが高いと考えられますので、帰省された後は、そういった方々との接触の度合いをできる限り下げる、感染リスクをできるだけ下げることなどのご努力をいただくことを前提として、ご家族とも話し合っただけ帰省をご判断いただければと思います。

令和 2 年 8 月 1 2 日
高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長
(知事) 濱田 省司

高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安 (令和2年8月12日変更)

判断指標	ステージ	ゼロ (緑)	注意 (黄)	警戒 (オレンジ)	特別警戒 (赤)	非常事態 (紫)
直近7日間の新規感染者数		0人	1人以上	14人以上	105人以上	175人以上
最大確保病床の占有率		10%未満		10%以上	20%以上	50%以上
対応方針	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> □ 「新しい生活様式」等の実践 (例) ・身体的距離 (1~2m) の確保 ・マスクの着用 ・手洗いや手指消毒 ・咳エチケット ・こまめに喚気 ・公共交通機関では会話は控えめに ・食事は大皿は避けて料理は個々に ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて ・テレワークやローテーション勤務 ・オンライン会議の推奨 □ 各店舗における適切な感染対策の徹底 				
	国の分科会のステージ区分	Ⅰ 散発的発生		Ⅱ 漸増	Ⅲ 急増	Ⅳ 爆発的拡大
	外出	「3密」の徹底回避		ガイドラインが遵守されていない酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	昼夜を問わない不要不急の外出自粛の検討・実施
	休業等の要請	—	—	—	一定の業種 ※2 の休業、営業時間短縮の要請の検討・実施	
	会食	(共通事項に留意)	可能な範囲で規模縮小・時間短縮を	小規模グループかつ短時間で	家族以外での会食を控える	
	イベント等	(国の基本的対処方針、ガイドライン等に基づき対応)			開催・参加の再検討	開催・参加自粛
	県立学校	各福祉保健所管内の感染状況等を踏まえて判断 ※3				
	県立施設		開館		屋内施設の休館を検討	休館
	他県との往来	全国の感染状況と感染拡大のリスク等を踏まえて判断				

※1 判断指標については、①直近7日間の新規感染者数、②最大確保病床の占有率のほか、③全療養者数（特別警戒：105人以上）、④PCR陽性率（特別警戒：10%以上）、⑤直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較、⑥感染経路不明割合（特別警戒：50%）の6つの指標をもとにして、ステージを総合的に判断する。

※2 休業等を要請する「一定の業種」については、県内の感染事例や国の基本的対処方針等を考慮して決定するものとする。

※3 県立学校については、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、福祉保健所管内の感染状況等を踏まえた県教育委員会独自の基準に基づき、休業等を判断するものとする。